

未払賃金立替払事業（平成 22 年度）の実施状況について

このたび、平成 22 年度における未払賃金の立替払事業の実施状況を取りまとめました。その概要は、以下のとおりです。

※ 未払賃金立替払事業は、企業倒産に伴い、賃金が支払われないまま退職を余儀なくされた労働者に対して、未払賃金の一部を国が事業主に代わって立替払するもので、独立行政法人労働者健康福祉機構が支払等の業務を行っています（参考）。

概 要

【1】平成 22 年度の立替払状況

平成 22 年度の立替払状況は、

- ・ 企業数は、3,880 件（対前年度比 10.9%減少）
- ・ 支給者数は、50,787 人（対前年度比 25.1%減少）
- ・ 立替払額は、247 億 62 百万円（対前年度比 25.8%減少）

と全て前年度を下回りました（表 1）。

支給者一人当たりの平均立替払額は、48 万 8 千円でした（表 1）。

立替払額は、平成 17 年度以降 5 年ぶりに減少しました（図 1、表 5）。

【2】平成 22 年度の立替払の動向

平成 22 年度下半期の立替払状況は、

- ・ 企業数は、下半期で 1,978 件（対上半期比 4.0%増加）
- ・ 支給者数は、下半期で 24,274 人（対上半期比 8.4%減少）
- ・ 立替払額は、下半期で 113 億 23 百万円（対上半期比 15.7%減少）

となりました（表 2）。

【3】企業規模別の立替払状況

平成 22 年度の企業規模別の立替払状況は、

- ・ 対象企業は、労働者数 30 人未満の企業が最も多く全体の 87.9%
- ・ 立替払額は、労働者数 30 人未満の企業が最も多く全体の 47.3%

となりました（表 3）。なお、立替払額は、労働者数 30 人未満の企業と 30 人～299 人の企業をあわせると、全体の 90.0%に上りました（表 3）。

【4】業種別の立替払状況

平成 22 年度の業種別の立替払状況は、立替払額では製造業が全体の 27.6%を占めており最も多く、商業、建設業の順になりました（表 4）。